

消費者の部屋通信

(平成27年6月号)

目次	☆ 特別展示の御紹介	1
	☆ 学校関係の訪問状況	2
	☆ 5月の消費者相談状況(速報)	3
	☆ 相談事例(5月分)	5
	☆ 地方の「消費者の部屋」だより	6



<特別展示>

「和の空間」でおもてなし

～伝統ある和の文化 お茶・畳・和装・いけばなの紹介～

(5月11日～5月15日開催)



<特別展示>

岩手県における農林水産業復興への取組

(5月18日～5月22日開催)

- ◆ 「消費者の部屋」では、消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供などを行っています。また、農林水産省の本省北別館 1 階で行われる特別展示には、これまで延べ200万人を超える方々に御来場いただいております。

これからもわかりやすい情報の提供・相談に努めて参りますので、どうぞお気軽に御利用ください。

☆ 特別展示の御紹介

●平成27年 5 月の開催状況

期 間	特別展示名	入場者数
5 月11日～5 月15日	「和の空間」でおもてなし ～伝統ある和の文化 お茶・畳・和装・いけばなの紹介～	1,167人
5 月18日～5 月22日	岩手県における農林水産業復興への取組	1,012人

●平成27年 6 月の特別展示

期 間	特別展示名
6 月15日～6 月19日	いただきます！ おいしい国産食材
6 月22日～6 月26日	食べるクジラをもっと身近に、簡単に！
6 月29日～7 月 3 日	むらの産品を世界に ～世界にはばたく 6 次産業化～

※特別展示の開催日以外の期間は、常設展示を開催します。

◆ テーマ『「和の空間」でおもてなし

～伝統ある和の文化 お茶・畳・和装・いけばなの紹介～」 ◆

日本の伝統文化である「お茶」「畳」「和装」「いけばな」に関する製品などの展示を行うとともに、これらの原料である「茶」「いぐさ」「蚕・繭」から製品ができあがる工程について、実演を交えわかりやすく紹介しました。



会場に畳を敷き和の空間を演出。お茶の試飲やいけばなの実演が行われた。



蚕の繭から糸をとる実演と、糸まき機を使っでの生糸繰り体験の様子。

◆ テーマ『岩手県における農林水産業復興への取組』 ◆

岩手県内の漁港、水産施設、農地、治山施設における東日本大震災の被害からの復旧状況や、農林水産業復興への取組事例を紹介するとともに、岩手県産農林水産物のPRを行いました。



岩手県の農地復興について説明を受ける農林水産大臣



岩手県の原木しいたけを試食する佐藤政務官



震災直後の様子から、現在の復旧状況に至るまでの様子をパネルでくわしく紹介。

☆ 学校関係の訪問状況

「消費者の部屋」では、小・中・高校生などに対して、農林水産行政などをわかりやすく説明しています。平成27年5月の来訪者は以下のとおりです。



■ 平成27年5月の訪問	来訪者数
宮城県 大崎市立三本木中学校（3年）	4名
京都府 精華町立精華西中学校（3年）	6名
宮城県 仙台市立八木山中学校（3年）	5名
岐阜県 本巣市立真正中学校（3年）	5名
愛知県 東浦町立西部中学校（3年）	17名
神奈川県 相模原市立串川中学校（2年）	5名
合 計 6校	42名

～ 修学旅行や社会科見学などの訪問をお待ちしています ～

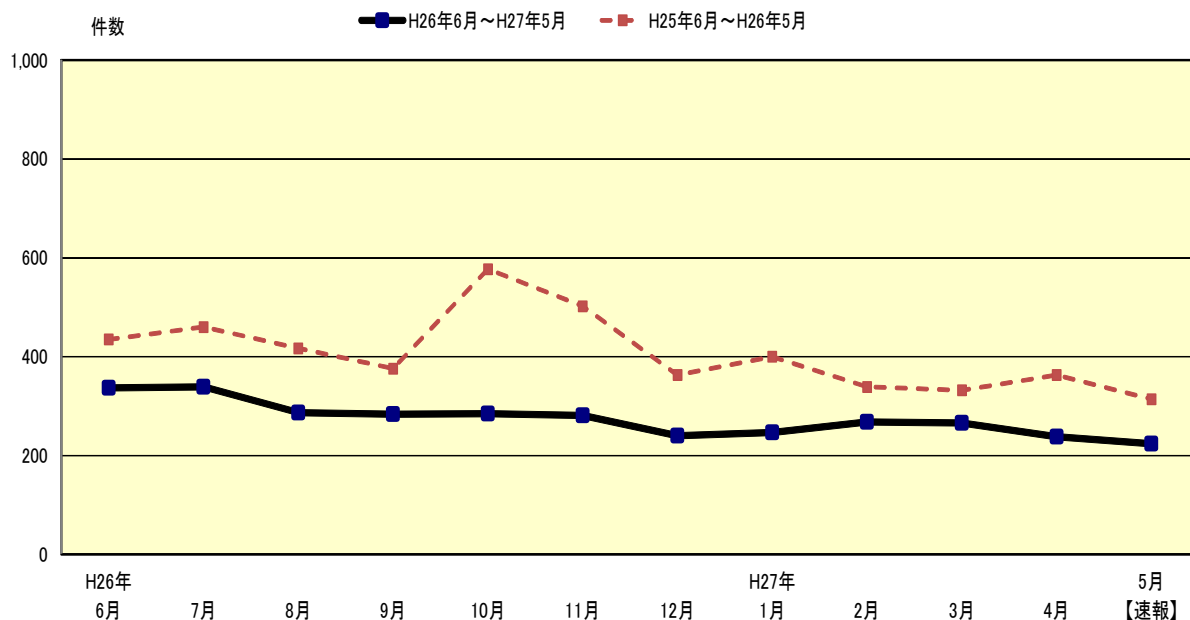
☆ 5月の消費者相談状況（速報）

～電話やメールで御相談を受け付けています～



5月の相談件数は、224件（前月238件）でした。このうち、問合せは198件、要望・意見は17件、その他は9件となりました。

図1 月別相談件数の推移

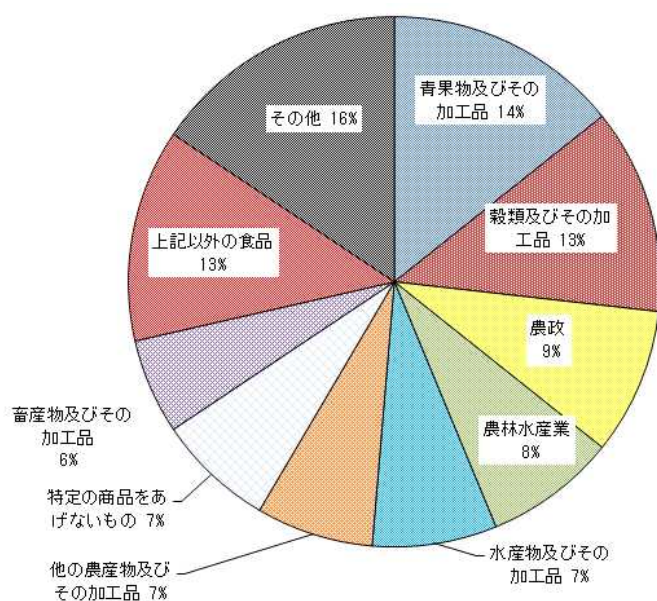


〔品目別相談件数〕

表1 品目別相談件数

	件数(前月件数)
青果物及びその加工品	32 (37)
穀類及びその加工品	28 (25)
農政	20 (19)
農林水産業	18 (13)
水産物及びその加工品	17 (25)
他の農産物及びその加工品	16 (8)
特定の商品をおげないもの	16 (11)
畜産物及びその加工品	13 (12)
上記以外の食品	29 (24)
その他	35 (64)
合計	224 (238)

図2 品目別相談比率

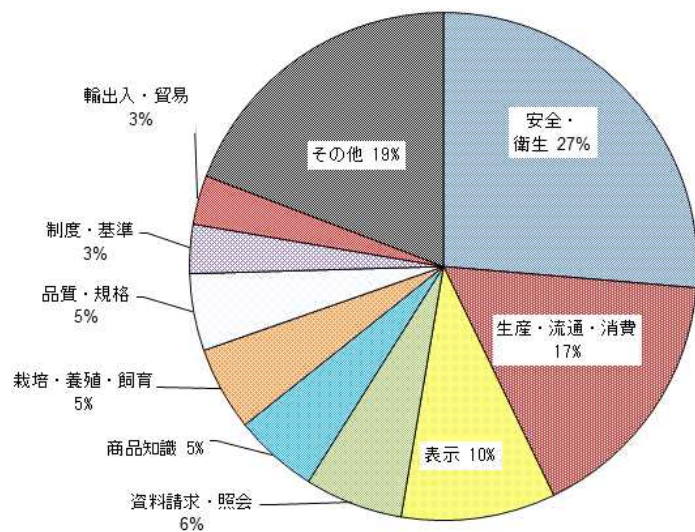


〔内容別相談件数〕

表2 内容別相談件数

	件数(前月件数)
安全・衛生	59 (40)
生産・流通・消費	37 (23)
表示	22 (34)
資料請求・照会	14 (23)
商品知識	12 (14)
栽培・養殖・飼育	12 (10)
品質・規格	11 (17)
制度・基準	7 (11)
輸出入・貿易	7 (9)
その他	43 (57)
合計	224(238)

図3 内容別相談比率

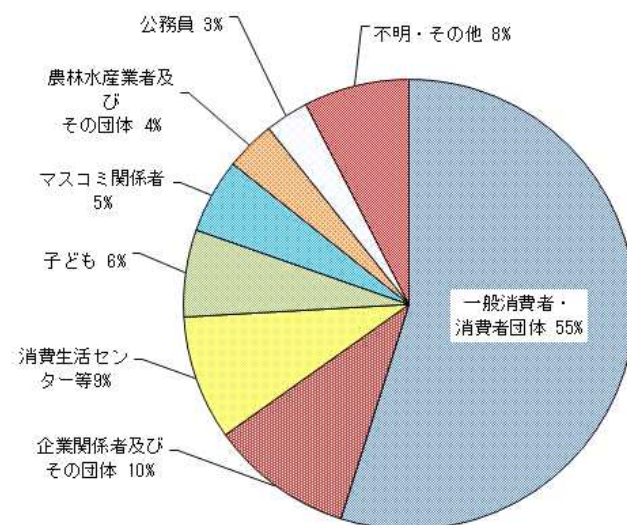


〔相談者別件数〕

表3 相談者別相談件数

	件数(前月件数)
一般消費者・消費者団体	123(115)
企業関係者及びその団体	23 (33)
消費生活センター等	20 (31)
子ども	14 (12)
マスコミ関係者	12 (7)
農林水産業者及びその団体	8 (7)
公務員	7 (8)
不明・その他	17 (25)
合計	224(238)

図4 相談者別相談比率



◆ 主な要望・意見

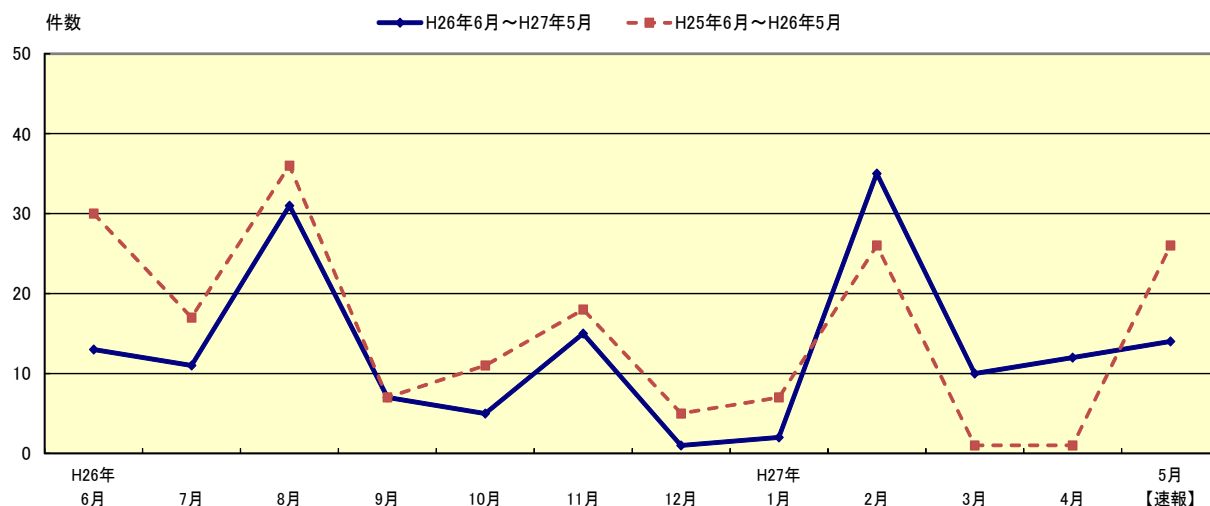
- * もっとお米を食べるような政策を取り入れてほしい。
- * やる気のある農業者に予算措置をして、農業の担い手を育てるべき。
- * 早急にバターを輸入してバター不足を解消してほしい。

【子ども相談】

子ども相談専用電話を設け、農林水産業や食品に関する子どもからの相談や質問にお答えしています。

5月の子ども相談件数は、前月より2件増加し、14件となりました。

図5 子ども相談件数の推移



☆ 相談事例（5月分）

Q 大麦を食べていますが、最近は大麦の中にもち麦があると知りました。もち麦とはどのような特性があるのですか。

A：お米と同じように、大麦にも「もち性」と「うるち性」があり、その中で、もち麦（もち性大麦）は食物繊維が豊富な穀物であることが知られ、注目されています。

大麦は食物繊維が豊富な作物で、特に、その胚乳に含まれる水溶性食物繊維のβ-グルカンの健康機能が認められるようになり、このβ-グルカンの含有量が高いもち麦は、麦ご飯でも食味がよいことから国内でも需要が増えています。

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構で育成したもち性大麦品種の「キラリモチ」は、β-グルカンが従来品種の1.5倍と豊富で、もちもちで粘りがあり、炊飯後にも変色しにくい特性があります。

（参考資料：「キラリモチ」国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センターホームページ公表資料）

☆ 地方の「消費者の部屋」だより

東北農政局 山形地域センター 消費者コーナー

山形地域センターは、JR山形駅から東へ徒歩約40分の、住宅街と豊かな自然が調和した閑静な場所にあります。管轄区域は山形県の内陸部で、お米（つや姫など）やくだもの（さくらんぼなど）、野菜などの栽培に適した、農業が大変盛んな地域です。

【消費者コーナー】

消費者コーナーは庁舎の1F玄関ホールにあり、「食事バランスガイド」の模型や各種パンフレットの設置、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」や、東北地域食育活動コンクールのテーマ「食と農で紡ごう！笑顔」のパネル展示など、お客様が見て楽しんでいただけるようなレイアウトを工夫するとともに、幅広く情報を提供しています。

また、「消費者の部屋」を併設して、気軽に相談できる環境を整備しています。



消費者コーナー

【移動消費者コーナー】

平成27年2月21日（土）、22日（日）の2日間、オープンして間もない山形県天童市のショッピングモールに御協力をいただき、「お伝えしたい 和食の魅力 私たちの食べ物事情」をテーマに移動消費者コーナーを開設しました。

「和食」の魅力や、日本の食料自給率など私達の身のまわりの食料事情、朝ごはんの大切さなどについて、親子連れからお年寄りまで幅広い層の来場者の皆様へ、パネルを使いながらわかりやすく説明を行いました。また、「食料自給率当てクイズ」や、正しい箸の持ち方を覚えてもらうことを目的とした「豆つかみゲーム」を行うなど、来場者参加型のイベントとして取り組みました。

アンケートには、およそ300名という多くの方から御協力をいただき、改めて食についての関心の高さを感じました。

今後も、さまざまな機会をとらえて、消費者の皆様への情報の発信を行って参ります。



移動消費者コーナー
（パネル展示）



移動消費者コーナー
（体験コーナー）

東北農政局 山形地域センター 消費・安全グループ

〒990-0023 山形県山形市松波1-3-7

TEL:023-622-7231 FAX:023-622-7249

九州農政局 鹿児島地域センター 消費者の部屋

鹿児島地域センターは、JR鹿児島駅から南西へ徒歩で5分、県民交流センターの隣に位置し、庁舎玄関左側に「消費者の部屋」があります。

【消費者の部屋】

「消費者の部屋」では、「食事バランスガイド」や「日本型食生活」等の普及啓発のため、和食等に関する各種パネルやバランスゴマの模型の展示を行うとともに、フードモデルによる1日分の献立例の紹介などを行っています。

また、(独)農畜産業振興機構に協力いただき、鹿児島の基幹作物である「サトウキビ」、「かんしょ」についての紹介と、これらを原料として製造される「砂糖」、「でん粉」の正しい知識・利用方法や生産を支援する仕組みについての特別展示を行いました。



常設展示



特別展示

【移動消費者の部屋】

平成27年2月25日にソニーセミコンダクタ株式会社鹿児島営業所の社員食堂で開催された「健康フェア」において、日本型食生活の普及推進を目的とした移動消費者の部屋を開設しました。

移動消費者の部屋では、バランスゴマの模型や和食等のパネルの展示を行うとともに、パンフレットの配布を行いました。また、「お野菜計量体験」として、社員の方々が自ら野菜350gを計量して1日の野菜摂取目標量を理解していただく取組を行いました。



移動消費者の部屋
(パネル展示)



移動消費者の部屋
(野菜計量体験)

九州農政局 鹿児島地域センター 消費・安全グループ

〒892-0817 鹿児島県鹿児島市小川町3-64

TEL:099-222-0214 FAX:099-223-7302

☆ 消費者の部屋ホームページを御覧ください！

* 消費者の部屋のホームページ(<http://www.maff.go.jp/j/heya/>)から、さまざまな情報が御覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

◇消費者相談

過去の主な相談事例を掲載しています。

◇特別展示の御案内

特別展示のスケジュールや概要について紹介しています。また、パネルの内容や展示物の写真など、展示の一部を掲載し、東京霞が関まで足を運べなかった方々にも展示情報をお届けしています。

農林水産省ホームページ・トップ



農林水産省「消費者の部屋」へお越しの際は、北別館入口から入館していただくと、通行証無しで入室できます。皆様のお越しをお待ちしています。



東京メトロ「霞ヶ関」駅
下車。A5、B3a出口すぐ。

平成27年6月発行

編集・発行 農林水産省 消費・安全局
消費者情報官「消費者の部屋」
担当：渡辺、川島、結城、佐竹

相談電話 03-3591-6529
ファックス 03-5512-7651
子供相談電話 03-5512-1115
インターネット相談窓口：

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/1c41.html>